



GenFIT実施レポート

～有限会社 池端牧場(石狩市)～

今回は2011年からGenFITを利用していただいている有限会社 池端牧場(石狩市)に伺い、授精担当をされている専務の池端永一さんにGenFITのメリットや自家授精についてお話を伺いました。現在の搾乳頭数は95頭、年間平均乳量は11,000kg以上を誇ります。



授精形態について教えてください!

ほぼ100%自家授精で、移植関係はNOSAIにお願いしています。預託をしていないので未経産時から自分で子宮の状態を確認できるのがメリットです。私は初産分娩月齢22～23か月を目標にしているのですが、しっかりと餌を食べている牛は手を入れたときに子宮内部がプリッとしている感触があるんです。一方で餌が合っていないと頸管が細かったり、子宮全体に張りがなくペタペタしている印象があります。あくまで私のイメージではあるのですが、その子宮内部の状態を基に未経産は餌のメニューを調整して繁殖に備えられる体づくりをしたり、授精のタイミングを見計らうようにしていて、今は平均分娩月齢22か月後半をキープしています。



取材を受けてくださった池端永一さん



GenFITの活用方法を教えてください!

種雄牛の選定は主に私が行っていますがまずは夫婦で相談しています。その上で今は、

- クラスタ事業用に性選別精液で分娩難易を考慮した未経産牛対象
- 産乳能力や肢蹄の評価値を重視した経産牛対象

の2種類の結果表を出してもらっています。過去の結果表も捨てずに保管して種の在庫管理に活用しています。

種雄牛を選ぶときはもちろんゲノムの数値も参考にしますが、繁殖に関する情報の信頼度を重視しているので、すぐには飛びつかずに成績が安定してから使うよう心掛けています。一度使い始めたらあまり変更せず、長く使うことで種雄牛の分娩の傾向を知ることができるので、娘牛を見てから再度使うこともあります。また、年ごとのハードサイア(牛群で主として利用する種雄牛)をある程度定めておくことで、結果的に次の選択肢も広がるし、種雄牛の流れを考えるのが楽しくなるんです。共進会に出てくるような牛も大好きですが、うちのフリーストールに合うように肢蹄が良くて大きすぎない牛、また栄養状態に直結すると



事務所の授精関連スペース

感じているので生産寿命と乳脂量と乳蛋白量の評価値も重視しています。本当は新しいもの好きなので新しい種雄牛が出たら飛びつきたいのですがそこは我慢しています(笑)。



GenFITを始めてから約9年経ちますが、変わったことはありますか？

肢蹄の構造が良くなりました！飛節が寄っている牛がいなくなったことで、乳器にも幅がでるようになりました。様々な種雄牛を使っているのですが、改良目標を定めていることや、AI事業体の販売担当者の方と相談して決めていることもあり、牛のサイズやスタイルが揃ったと感じます。今は乳頭がちょっと短い牛が増えてきているので次に改良していきたいと思っていますところですよ。

もしGenFITをしていなかったら、きっと近交を気にしながらも正確な数値がわからないままなので、その時その時の流行りの種を使って、改良方向がぶれていたかもしれません。近交が高くなる交配は受胎率もあまりよくない実感があるので、次世代の近交係数を見ることができて安心です。



今後の展望について教えてください！

あくまで私見ですが、今は大規模化などは考えずに、あと30年ぐらいしかできない「牛屋」としてきちんと牛を見る時間を大事にしていきたいと思っています。最近は搾乳ロボットや新しいシステムなどもどんどん機能が増えていて一見魅力的なのですが、機能を使いこなせて収益に直結してこそ導入の価値があると思うので、今は検討していません。昨今は大規模化による分業化が進んでいますが、餌づくりから繁殖まですべては繋がっていると思うので、やっぱり自分で牛を見てその変化を感じ取れるようにしていきたいです。



たっぷりの飼料と整えられた飼槽 牛のサイズにも斉一性がみられました

新しい情報に常にアンテナを張って情報収集をしつつも、流されることなく実直に牛と向き合う池端さんの姿勢に感銘を受けました。お忙しい中、取材を引き受けてくださった池端様にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

事業推進部 藤元郁子

SAKURA会 2020 セミナー&オンナまつり

令和最初の！

開催日：令和2年2月29日（土）
13:00～（受付開始12:00）

場 所：あかん湖鶴雅ウイングス（釧路市阿寒町）

- ◎基調講演「誰のために 何のために」
森 有紀氏（別海町 酪農家）
- ◎グループワーク「頑張る私のONとOFF」
- ◎参加費：実費負担（後日お知らせします）

参加申し込み、お問い合わせ

Mail: sakurakai.agri@gmail.com (砂子田・片岡)

Facebookグループ: [Sakura会](#)



あなたの目標
なんですか？

